

Indies Brand

作品

CB400SF (NC39/NC42) スーパーバックステッププレート

CNCにより切出し加工したプレートです。

本体素材はアルミ A5052 で、強度と耐久性をもった素材です。

他のアルミより比較的耐久性はありますが、表面腐食を防ぐ為に

ワックス掛けなども行って下さい。

ネジの増し締め等は定期的に行い安全にご使用ください。

趣味の延長で作っている作品をお分けしています。

ご使用は自己責任でお願いします。

KIT 内容

右プレート(窪み有り)	1本
左プレート	1本
キャップボルト(M8x35)	4本
ワッシャ(M8)	4枚
アルミスペーサー(10 mm厚)	4個
延長シフトロッド	1組



CB400SF (NC39/NC42) バックステッププレートの取付方法

一部、旧延長ステップの写真を使用しています。

<年式により配線の取り廻し変更が必要です>

NC39 では配線の取り回しを変更しなくても大丈夫との情報を得ました。



<コネクタの取りまわし変更>

ステップを移動させるとブレーキランプの配線長さが足りなくなります。

解消方法は取りまわし位置を変えます。

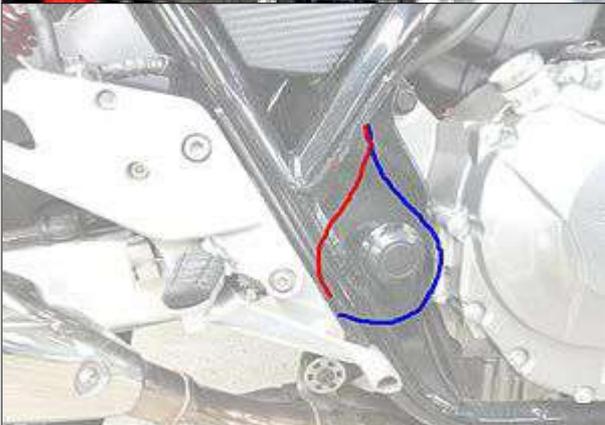
・スイングアーム下から来ている線をスイングアーム上から接続するようにします。



配線の取りまわしをする前に邪魔になるホースを避けておきます。



フレームから線を外してからコネクタ部分を外します。(ボタンを押しながら抜きます)おきな力は要りません。



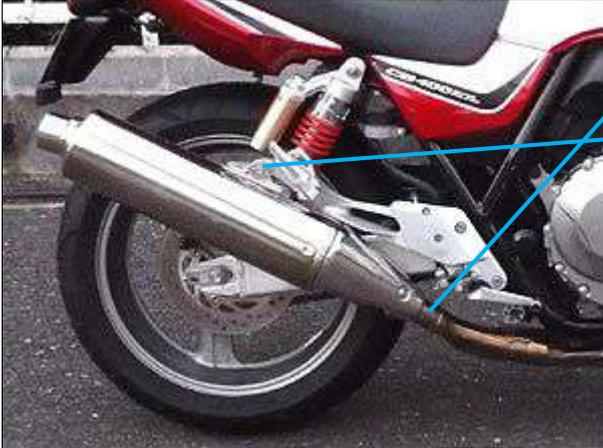
フレームの向こう側で

・青線が純正の取りまわしです。

・赤線の取りまわしにします。

NC39 の場合配線の取り回し変更を行わなくて良い物もあるようです。

<右側の取付け>



<マフラーの取り外し>

- ①下部ジョイント部分のボルトを緩める。
- ②上部取り付けボルトを外す。

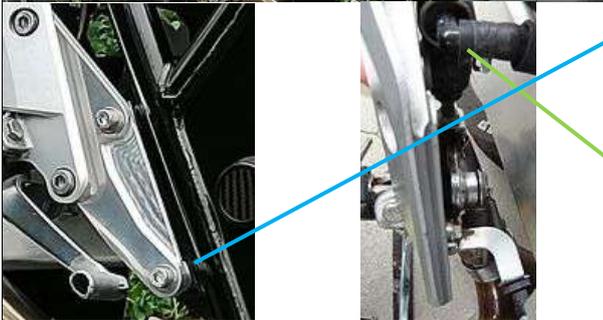
下部はガスケットが入っているので無理にコジないように！（ガスケットが変形します）



<プレートの取り付け>

写真を参考にプレートを取り付ける。

- プレートは付属の皿ネジ(M8x35)を使用。
プレート/フレーム間にスペーサーを入れる。
- ステップには外した純正ボルトを使用する。



スペーサーには切り欠け部分が有ります。
フレームの溶接跡が邪魔になる時は切り欠けを利用して溶接跡を避けて下さい。

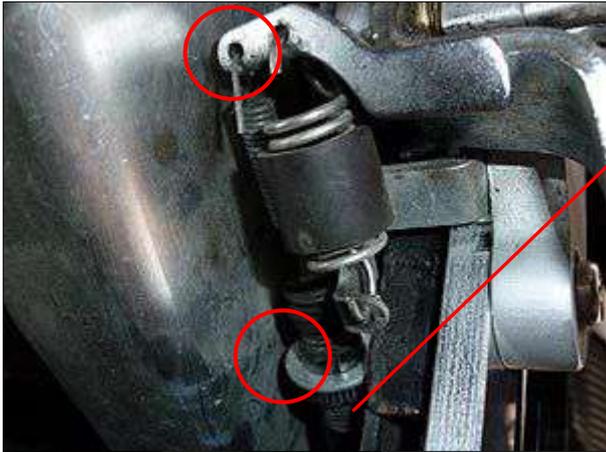
ホースは手で横向きにしておく。
(向きを変える時、固い場合はオイルスプレーし、しばらく経ってから動かすとスムーズに動く。)

強引に曲げない事！

ブレーキペダルの角度調整をして下さい。
OIL スプレーすればスムーズに調整できます。



マフラーへの取り付けは、マフラータイプ別延長プレートを使用します。
写真はノーマルマフラー用スーパーロングステーです。



<確認箇所>

- ・○の所がスウィングアームに当たっていないか確認！
- ・ブレーキランプスイッチの調整を忘れずに！

←底からのぞいた写真



ブレーキのリザーブホースが折れていないか確認する。
横向きにする。

<注意>

ボルトは、少し走ったら必ず増し締めして下さい。(緩みを無くす為に必ず行って下さい。)
定期的に締め付け点検も行って下さい。

テールランプの点灯確認も定期的に行って下さい。

<左側の取付け>



左側は最初にロッドを外します。

その次は、ステップを外します。

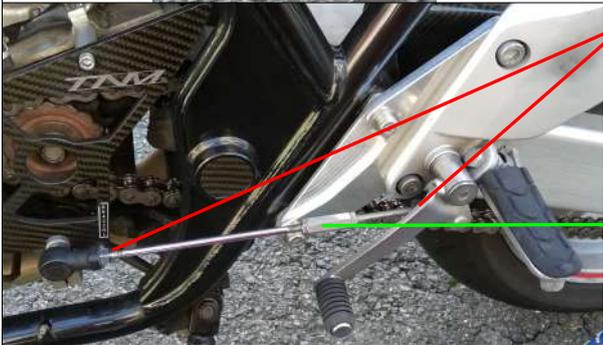
取付けは、右側の時と同じ要領で、フレーム/プレート間にスペーサーを挟み、その後ステップを取りつけます。

ロッドの調整



まず、先に延長ロッドを取付けます。

このナットでも調整できますので上手くバランスを取って下さい。



純正ロッドを左右同時にバランスよく同じネジ山づつねじ込んでいきます。
ちょうどいい所で左右のナットをロックして下さい。
(左は逆ネジです。)

ネジ山のねじ込みが浅いと危険ですので、そんな場合はこの部分も使用して全体的にバランスよく調整して下さい。(1ヵ所につき4山以上入れて下さい。)

<注意>

少し走ったら外側のボルトは一度増し締めする。(緩みを無くす為に必ず行って下さい。)
定期的に締め付け点検も行って下さい。